

プログラム名称	農学から始めるDXとGX
概要	社会全体でデジタル化に向けた取組が加速するなか、デジタルトランスフォーメーション（DX）という言葉が社会に急速に浸透している。農業・食関連産業においてもDX実現に向けてさまざまな取組が進められている。本プログラムでは、農業生産とそれを支える生産基盤、環境の視座からDXについて知識を修得するとともに、温室効果ガスの排出削減と産業競争力向上の両立を目指す取組みであるグリーントランスフォーメーション（GX）について知識を修得する。
到達目標	1) 国内農業の現状を踏まえて、農業・食関連産業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）とグリーントランスフォーメーション（GX）の必要性を理解できる。 2) 農林業とそれを支える生産基盤のロボット化、スマート化の到達点を理解するとともに、バイオマスに代表される未利用資源等の利活用を説明することができる。 3) データの取得方法と統計的な分析手法を理解し、データ駆動型の持続的な農林業生産と発展について考察することができる。
履修資格	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること。 ・所定の授業科目について12単位以上を修得していること。 ・学位プログラムが決定していること。 ・学位プログラムが流域環境学プログラムと異なること。
その他特記事項	創生学部生で「生物資源科学・流域環境学領域学修科目パッケージ」を選択しようとするもの、及び選択したものは、教育基盤機構アカデミック・アドバイザー等に相談をすること。

区分	開講番号	開設科目名	必修	単位	学期	曜限	形態	対象学年	分野	水準	定員	隔年開講	備考
	260G6905	農業DXを知る		1	集中	他	講義	1,2,3,4,5,6	60	13	70		
	260A0003	基礎農林学実習		1	集中	他	実習・実験	2,3,4	60,62	13	190		
	264A0054	精密農業工学		2	第4ターム	火3,火4	講義	2,3,4	65	04	90		
	263A0050	食品・農業情報工学		2	第3ターム	金3,金4	講義	2,3,4	65	04	50		
	263A0062	流域環境GIS		2	第3ターム	火2,金2	講義	2,3,4	62,65	03	80		
	261A0073	環境リモートセンシング		1	第1ターム	水2	講義	3,4	62,65	04	80		
	261A0129	農地と水利用		2	第1ターム	月2,木2	講義	2,3,4	65	03	70		
	262A0055	バイオマスエネルギー論		2	第2ターム	月1,木1	講義	2,3,4	65	04	50		
	263A0051	食料環境工学		2	第3ターム	火1,金1	講義	2,3,4	65	04	50		
	263A0078	環境統計学		2	第3ターム	水3,水4	講義	2,3,4	62,65	04	41		
	261G6034	農業資源を知る		2	第1ターム	火1,金1	講義	1,2,3,4,5,6	60,75	03	250		
	262A0161	数値モデリング入門		1	第2ターム	木5	講義	3,4	62,65	03	50		1
		アグリビジネス論											
	262A0043	生物統計学		2	第2ターム	金3,金4	講義	2,3,4	60	04	100		

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

備考 1) 令和5年度は3年生向け開講。令和6年度から2科目に分割。令和7年度から分割科目の1つを廃止。